

第5回
まちづくり評価報告書

令和2年3月
第7期美唄市総合計画等
市民検討会議

目 次

<参考> 美唄市の事務事業評価システムについて	1
<参考> まちづくり評価のサイクル	2
第5回まちづくり評価の進め方	3
評価ランク集計表	4
1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり	
（1）産業づくり （農商工連携、農業振興、商工業振興）	5
（2）にぎわいづくり （観光・交流、公共交通、情報化推進）	7
2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり	
（3）人づくり （子育て支援、学校教育、芸術・文化・生涯学習、男女共同参画、平和施策）	10
3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり	
（4）環境づくり （自然保護、環境行動、ごみ処理）	13
（5）うるおいづくり （都市基盤整備、景観・緑づくり）	15

4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	
(6)	健康づくり (保健、地域医療)	17
(7)	福祉のまちづくり (障がい者福祉、高齢者福祉)	19
5	安全で安心して住めるまちづくり	
(8)	安全づくり (防災・防犯・交通安全、消防)	21
(9)	安心づくり (消費者保護、雇用対策、コミュニティ)	23
6	みんなで力を合わせるまちづくり	
(10)	地域経営の確立 (協働のまちづくり)	25
◎	主な自由記述	27

< 参考 >

第7期美唄市総合計画等市民検討会議委員名簿

美唄市の事務事業評価システムについて

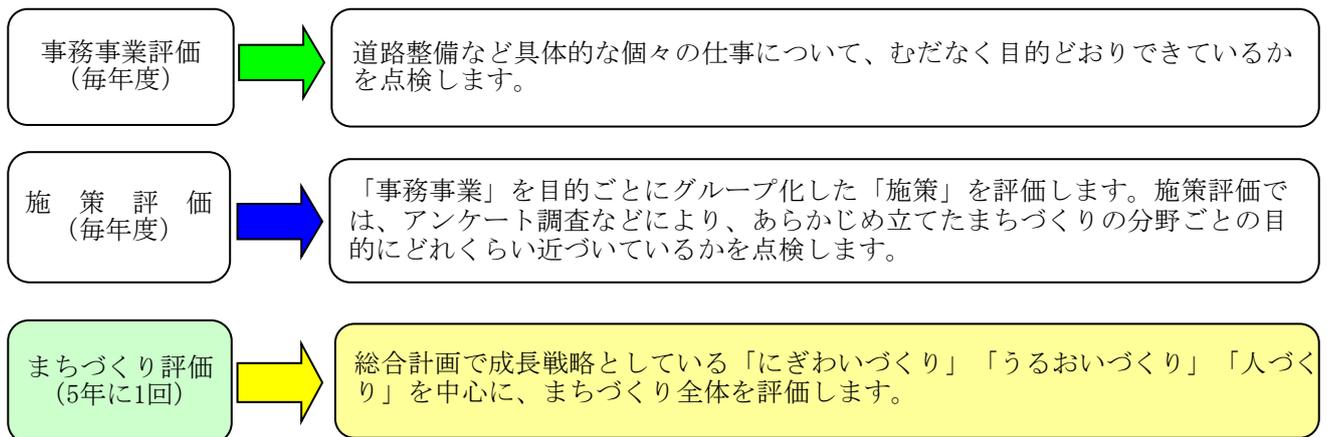
美唄市の事務事業評価システムは、美唄21世紀まちづくりプラン（第5期美唄市総合計画）前期基本計画を推進管理する手法として、平成13年度から導入し、これまで実施してきました。

このシステムは、市が行った仕事について、どのような効果があったかを測るため、市民の視点による「モノサシ」として成果指標を設定し、P D C A（Plan（計画）・Do（実施）・Check（評価）・Action（見直し））のサイクルの中で評価、点検し、その結果を次の仕事に生かすためのしくみです。

評価システムの構成としては、市の事務事業を個別に評価する「事務事業評価」、事務事業を目的ごとにまとめた施策に対する「施策評価」のほか、総合計画の都市像や方向性など、まちづくり全体を評価する「まちづくり評価」となっています。

このように、本市は、「事務事業評価」「施策評価」「まちづくり評価」の3階層による評価システムを採っており、「事務事業評価」と「施策評価」は市による内部評価として毎年度、「まちづくり評価」は外部評価（市民評価）として5年に1回実施しています。

<美唄市の事務事業評価システム>

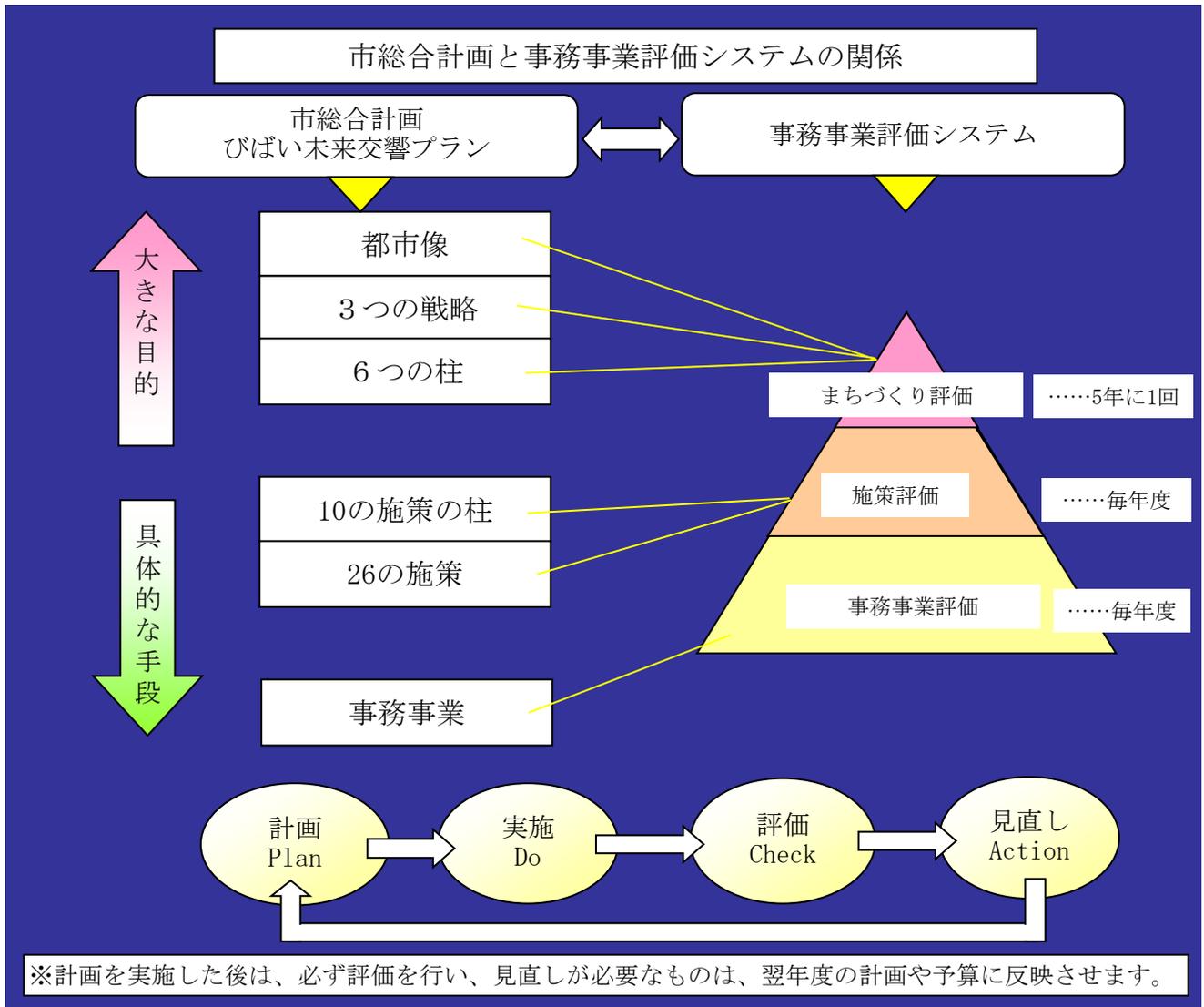
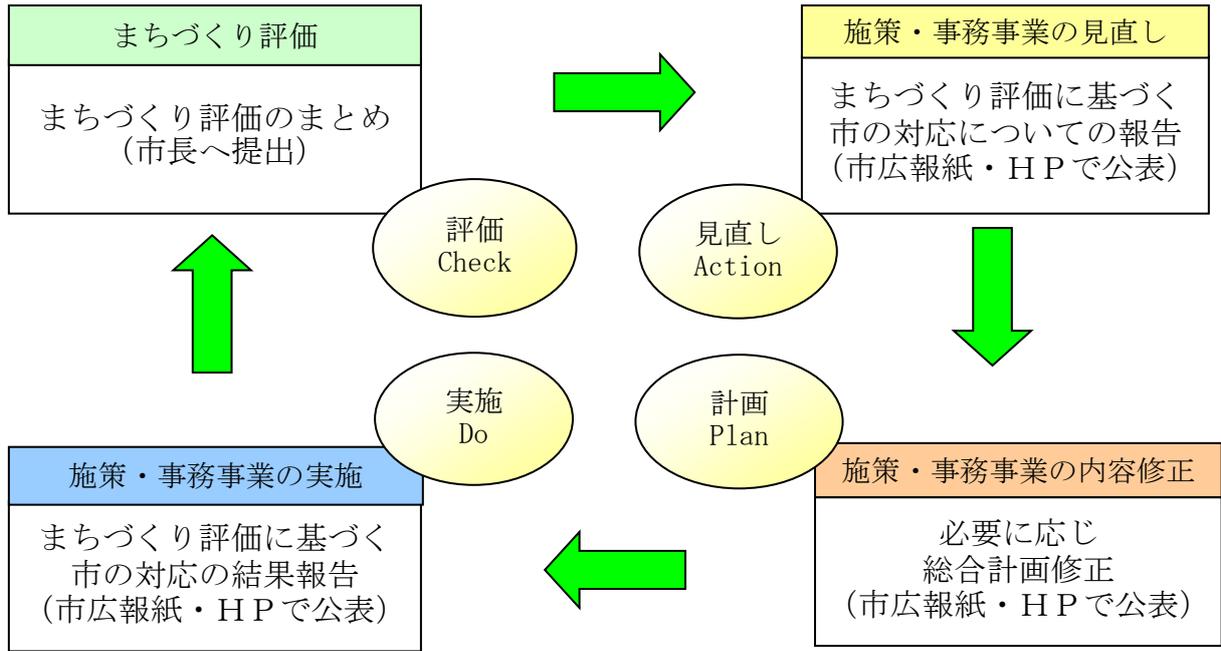


<参考> まちづくり評価のサイクル

まちづくり評価は、ムダなく 住みよいまちづくりができているかを市民の視点で確認するため行うもので、いわば「市の通信簿」です。数字（指標）や他市との比較でまちづくりが計画どおり進んでいるか、あるいはまちづくりの方向が、市民ニーズや社会経済情勢、時代状況と合っているかなどをチェックします。

まちづくり評価は、評価が出された後で、市がそれを受けて、どう取り組むのか（まちづくり評価に対する今後の取組報告）、取り組んだ結果どのように実施されたか（まちづくり評価取組結果報告）を取りまとめて市民公表することとなり、市が評価を受けて美唄のまちづくりにどう取り組んだかが見えるしくみとなっています。

<まちづくり評価のサイクル>



第5回まちづくり評価の進め方

びばい未来交響プラン（第6期美唄市総合計画）の3つの戦略である「にぎわいづくり」「うるおいづくり」「人づくり」の各分野を中心に、まちづくり全体について評価をしました。

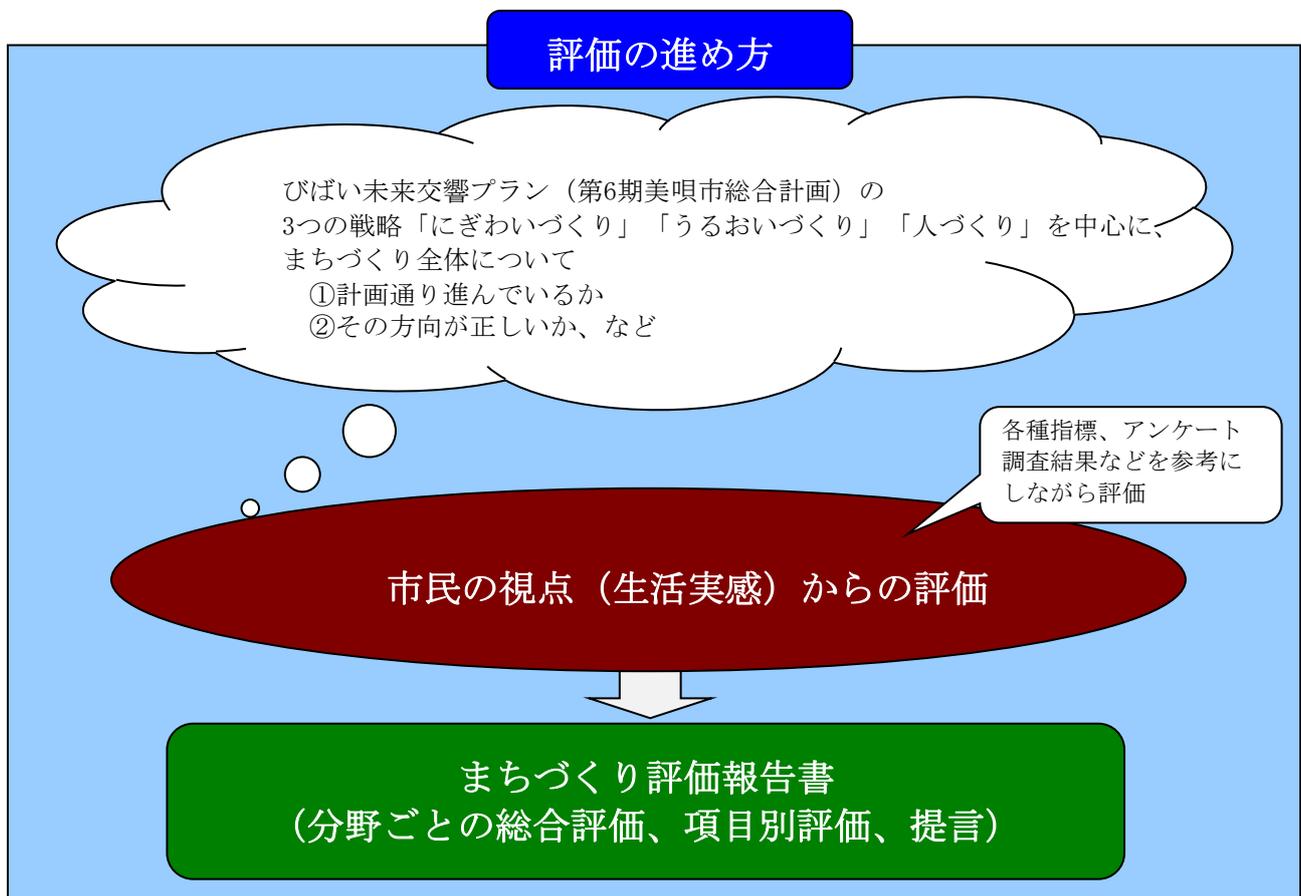
総合評価は、次の5段階の評価とし、分野ごとに、総括的な説明をつけました。

また、総合評価に至った根拠として、評価に参加した第7期美唄市総合計画等市民検討会議の各委員の評価の集計結果と評価の状況（5段階評価のランキングとその理由）を掲載しました。

なお、今回のまちづくり評価においては、評価に基づいた市に対する「提言」は行わないこととし、「提言」に関しては、第7期美唄市総合計画等市民検討会議から市長へ提出する第7期美唄市総合計画に関する最終提言書に一括整理することとしました。

【総合評価のランク】

A：よくできている	★★★★★
B：割とできている	★★★★
C：普通（可もなし、不可もなし）	★★★
D：あまりできていない	★★
E：できていない	★



評価ランク集計表

3つの戦略	6つの柱・10の施策の柱	評価 ランク
に ぎ わ い づ く り ・ う る お い づ く り ・ 人 づ く り	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり	C
	(1) 産業づくり (農商工連携、農業振興、商工業振興)	C
	(2) にぎわいづくり (観光・交流、公共交通、情報化推進)	C
	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり	C
	(3) 人づくり (子育て支援、学校教育、芸術・文化・生涯学習、男女共同参画、平和施策)	C
	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり	C
	(4) 環境づくり (自然保護、環境行動、ごみ処理)	B
	(5) うるおいづくり (都市基盤整備、景観・緑づくり)	C
	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	C
	(6) 健康づくり (保健、地域医療)	C
(7) 福祉のまちづくり (障がい者福祉、高齢者福祉)	C	
5 安全で安心して住めるまちづくり	C	
(8) 安全づくり (防災・防犯・交通安全、消防)	C	
(9) 安心づくり (消費者保護、雇用対策、コミュニティ)	C	
6 みんなで力を合わせるまちづくり	C	
(10) 地域経営の確立 (協働のまちづくり)	C	

1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
(1) 産業づくり（農商工連携、農業振興、商工業振興）

■総合評価 C ★★★

総括的コメント
農商工連携については、成果指標や関連指標の達成度も高く目標値も概ね達成していることから、施策の方向性は適正であるとの意見がある一方、新たに商品化されたものが近年ないことから新商品の開発を進めること、商品化されたものをもっと市内外へPRしていくことが必要であるとの意見がありました。
農業振興については、本市の基幹産業であることから各支援策も図られ農業施策には力が入れられており目標値も概ね達成されているとの意見があるほか、今後は、農業者の後継者不足、農産物価格の低迷、国際情勢の影響による農業情勢への変革に対応した支援を望む意見や本市の特産品であるお米・ハスカップ等の更なる推進を望む意見がありました。
商工業振興については、中心市街地や美唄駅周辺、国道12号線沿いを活性化させる施策を推進してほしいという意見のほか、関係人口を増加し、年間商品販売額を増やすことや、今後増加が予想される外国人労働者に対する支援が必要という意見がありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等	評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価		4	9	16	4	0	0	33
農商工連携		1	3	6	1	0	0	11
農業振興		2	5	2	2	0	0	11
商工業振興		1	1	8	1	0	0	11

<各委員の評価の状況>

◎農商工連携

評価	理由
A	成果指標・関連指標の達成度も高いと思われるが、新たに開発された商品の生産が現在も続いているものが少し少ないのが残念なのかなと思います。どのような理由での生産終了なのか、わからないので断言できません。他の部分に関しては今後も続けていってほしいと思いました。
B	地元魅力を発信することをできる範囲でやっていると思う。今後はいかに継続して発信してくか。
B	コメントなし(1件)
B	新たに商品化したものが近年ないが、概ね目標値を達成しているため
C	横のつながりの強化と現状以上の連携が必要。向かうべき方向は見ているものの、足並みが揃いきれていないため、各々の「強み」を生かせていない。
C	農商工連携の取り組みにより、商品化された商品や販売店などのPRが市内外に対して不足していると考えております。
C	市民に受け入れやすい新商品の開発を進め、その商品が、地元で愛されるような市民へのPRが必要と感じる。
C	コメントなし(1件)
C	市の情報や助成などのことが市民に行き届いていない。
C	現状の商品だけでは決して満足いくラインナップではなく開発や商品維持の他、多くの方が手に取り買って帰りたい、贈りたいという戦略を踏まえていくことが必要。
D	15品→7品は理解できる。もっと新商品を開発しないと美唄ファンを獲得できない。

◎農業振興

評価	理由
A	ほ場整備事業が円滑に行われている結果、農産物の総販売額もどんどん上がったり、従来よりも耕作しやすくなることから農業の担い手がいると考えられるので、農業振興にはとても力を入れていると思うし、今後も力を入れていくべきだと思います。
A	目標値もほとんど達成しており、有名な名産品が多くあるように感じるため
B	ハスカップ及びアスパラガスは成功と言えるが、他の競争市町村との比較がない。美唄が一番という宣伝力がほしい。
B	市の基幹産業との位置づけが施策にも表れており、各支援等対策も図られている。今後においては人口減少・農産物価格の低迷、更には国際情勢の影響による農業情勢への変革に対応した支援が急務。
B	全国的に農業の担い手が不足している中で、本市の基幹作物である米等について安定的に生産できるよう環境整備を進めているため。
B	コメントなし(1件)
B	農業者と農協、行政のバランスが理想的なものかどうだったのかについてが見えてこない所もあると思う。十分な連携と評価できるよう、より良い推進を目指してほしい。
C	本市の魅力でもあるハスカップやお米を、食育を通して市民誰もがPR出来るよう、更に推進していくことが必要と感じる。
C	地域の農産物のPRなどしっかりとしている。
D	コメントなし(1件)
D	鳥獣被害について絶対検討してほしい。

◎商工業振興

評価	理由
A	成果指標・関連指標の達成率もいいと思います。
B	駅前ホテル建設に伴う周辺の整備や大手飲食店の進出など、今後も本市の活性化に向けて街づくりを進めてほしい。
C	企業立地活動の成果は上昇しているが、関係人口を増加して、年間商品販売額を向上すべきである。
C	地元企業への補助金等は引き続き行いながらも、今後増え続ける外国人労働者に対し、企業や実習生に対する支援が必要になってくると感じる。
C	現状でできる範囲でPRできているように思う。
C	コメントなし(2件)
C	企業数は減り続け、起業数も増えていないため
C	国道沿いの街並みが寂しい。
C	まちなか交流は、一部の人、世代だけに滞っていないか。企業活動に適している方向性は何か。企業誘致ははたして積極性があるといえるか。3点模索すべきではないか。
D	企業誘致については進捗が見られるものの、中心市街地の活性化については余り進捗を感じない。「宮島沼」や「アルテピアッツァ」、「焼き鳥」や「とりめし」、安心・安全な地場農産物等、他市町村との差別化を図れる地域資源を生かした施策を講ずるべき。中心街への「道の駅」構想や、「雪の冷熱エネルギー」を活用した産業振興、インターネットを活用した商品販売展開など消費者ニーズを捉えた戦略が必要。

(2) にぎわいづくり（観光・交流、公共交通、情報化推進）

■総合評価 C ★★★

<p>総括的コメント</p> <p>観光・交流については、市のホームページやFacebook等を活用し、情報発信しており観光客誘致に力を入れているとの意見がある一方、観光施設の整備が遅れているため観光客の増加に繋がっていないことや観光情報発信の成果が乏しいとの意見がありました。</p> <p>公共交通については、少子高齢化・人口減少化においても市民バスや乗合タクシーの取り組みは継続してほしいという意見があり、今後は、スキー場の来客数が増加することが見込まれることから、冬場の交通機関の在り方など、新たな形態を模索し利用者を増やす取り組みが必要との意見もありました。</p> <p>情報化推進については、外国人観光客を受入れる観点からも市内公共施設等のWi-Fi環境の拡充を望む意見や、電子申請の普及、5Gへ対応した施策の推進を望む意見もありました。</p>
--

<各委員の評価の集計結果>

施策区分	評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価		2	19	23	9	4	1	58
観光・交流		0	5	5	0	1	0	11
公共交通		1	4	3	3	0	0	11
情報化推進		1	10	15	6	3	1	36

<各委員の評価の状況>

◎観光・交流

評価	理由
B	観光PRや移住・定住については成果を感じる。特に情報発信の面では市のホームページやFacebook等で頻繁に取組内容が発信され、施策を意識した活動が見受けられる。課題としては、美唄市に住む利便性（メリット）がわかりづらい。他市町村との違いや特化している点、重点的に取り組んでいる施策が余り見えてこない。PR方法については検討が必要。
B	外国人への情報発信もできており、観光客誘致に力をいれていると思う。
B	現行の内容で観光客の増加につながらないのは観光施設の整備が遅れているからではないかと思う。美唄市ならではの特色のある観光スポットは存在しているので多くの人にもっと知ってもらうことが大切なのではないかと思ったため。
B	コメントなし(2件)
C	市内の観光名所を利用しての経済効果を高める取組が不足していると考えております。
C	美唄に滞在しながら、観光、体験、交流をすることによる、にぎわいづくりの形が見えてきたと思われる。今後は市、民間、市民との役割分担を行っていくことが課題。
C	観光客数、移住人数が目標値から大きく違うため
C	コメントなし(1件)
C	現状に加えて本市をどのように魅せていくのか。イベントの他、持続的な取組みの充実化を目指してほしい。
E	観光情報発信の成果が乏しい。HPのアクセス件数も低い。赤平市と比べ、炭鉄港はどこを宣伝しているのかわからない。

◎公共交通

評価	理由
A	利用者が減少している状況で、市民バス等を継続されていることにつきまして評価できるため。
B	満足度は悪くない。利用者数を増やすための工夫が必要なのか、指標を変更するべきなのか、検討が必要である。
B	人口減のため市内バスやタクシーの数が減ってしまうのは理解できるのがなくなってしまうのは困るので、公共交通の新たな形態を模索していくことが今後の少子高齢化社会には必要なのではないかと思います。
B	バス等少ないながらも走っているため
B	コメントなし(1件)
C	高齢化を意識した施策であり利便性を追求すると終わりはありません。引き続き予算等取組める範囲で且つ、市民目線での検討を望みます。
C	近隣のスキー場が閉鎖する中、今後、本市スキー場への来客が見込まれることから、冬場の市民バス等での交通機関を考えることが必要と感じる。
C	コメントなし(1件)
D	中心部在住以外の高齢者も利用しているようなのでよいと思う。もっと細かいニーズに応じていくべきだがコストの観点から無理があるのかも。
D	コメントなし(1件)
D	「誰もが利用しやすい」に関して課題が山積みだと感じる。

◎情報化推進

評価	理由
A	コメントなし(1件)
B	インフラ整備についてはかなりの進捗が見られる。今後もWi-Fi環境整備を拡充し、特に電子申請手続きの進展を望みます。ホームページについてはアクセスしてもらう方法の検討（アクセス分析等）によりさらに利用者数の増加は見込めるものと思う。
B	市ホームページでは随時、情報発信がされており、見やすく分かりやすい情報等を継続しているため。
B	成果指標・関連指標の実績値が数年変わり映えが無いように思いました。
B	コメントなし(1件)
B	地域おこし協力隊やび～さてなどの活動はとても良い。
B	光回線の普及率の増加の観点から、情報化の推進が進んでいる。
B	光回線サービスエリア全てが開通。接続エリアに。
B	光回線普及率、ホームページアクセス数は増加傾向にありますが、これからも広範な市民の皆様へ丁寧な情報発信と様々な工夫が望まれます。
B	電子申請自体は遅れているとは思わないが、住民票なども取れる様になればありがたい。
B	SNSをもっと有効活用すれば、色々な方に美唄市を知ってもらえると思いました。
C	情報通信はまだ発展途上なので、スマホ5Gをにらみ、今後の対策が重要になる。
C	市内各地へのWi-Fi設置を更に進めてほしいと感じる。
C	HPへのアクセス数がやはり減り続けているため
C	コメントなし(2件)
C	やるべき事はやってきたのだと思う。電子申請普及については、料金を伴う申請が、マイナンバー必須であること、次にネット上での料金決済の方法が確立されていないことが評価に伸び悩む原因ではないかと感じる。
C	アクセス件数は目標に至っていないが、市のHPはよく出来ていると思う。
C	施策実績値の大幅変動がないため

C	市民間における情報の共有が弱い印象があります。
C	説明を聞けなかったので、判断できませんでした。
C	特別情報推進が進んだとは感じない
C	街中のWi-Fiの整備など改善の余地がある
C	以前からと比較しあまり変わった実感がしないため
C	一定の整備はされているが、まだまだできることがあると思う。
C	従前の事業の継承と判断しました。
D	地域格差をなくす。
D	インターネットを活用している高齢者は少なく、HPやFBの情報は行き届いていないように感じる。また、若い世代はインターネットを利用していると思われるものの、市の情報を見ているという声はあまり聞かない。
D	公共施設のWi-Fi環境整備は進んでいない。限られた予算で整備できないと思うが、ICTを活用するなら同時進行でWi-Fi環境整備を進めなければならない。
D	電子申請について、本当に必要なのか。必要な人のために整備されているのかという疑問があるから。
D	ネット社会になって行くに当たり高齢者やIT弱者に対してのインターネットの正しい導入方法や助成（人、もの、お金）などがあると良い
D	市役所内や美唄市内のWi-Fi環境が整っていない。外国人観光客などの受入にも力を入れているのであれば、もっと重点的に予算をつけて整備すべき。
E	観光客誘致している割にはWi-Fiスポットが無さ過ぎる。最近ではノマドワークに憧れる若者が多く、移住を促進するためには（5G導入に伴い）WEBビジネスが一層盛んになることが予想されるため、地方では一層の情報環境の整備が急務だと思います。
E	利用する側に立つと、市のHPの活用が著しく使い勝手が悪いという現状から評価しかねる。HPについてが大きなポイントと考える。
E	【農業面】新（開発）商品の情報をそもそも市民は知っているのか疑問。行政によるSNSでの発信より消費者の口コミの方が実感できると思います。農家の高齢化について今後の展望が見えていないため。【商業面】中心市街地が活性化しているとは全く思えない。市内の商業分野において、他店舗との競争力が働いていないため、活性化していくことは今後も難しい。企業誘致は市の構想と市民の望みが合致していないように感じます。若者世代に厚い支持を受けることが未来の街作りに必要なのではないのでしょうか。【観光面】年間90万人の観光客という目標が現実的ではない。集客が見込めるイベントや施設もなく、新たなイベントが開催されているわけでもない。何が魅力なのか正直、市民がわかっていないように感じます。
F	コメントなし(1件)

2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり

(3) 人づくり (子育て支援、学校教育、芸術・文化・生涯学習、男女共同参画、平和施策)

■総合評価 C ★★★

総括的コメント

子育て支援については、市民アンケートの結果から、「子育てしやすいまち」と思っている市民の割合は低く、助成制度だけではなく子供達の活動ができる施設が少ないため共働き世代に不満がある。出産施設が無く育児に不安があるとの意見がありました。

学校教育については、校舎の大規模改修等の環境整備が進んでいることやグリーン・ルネサンス推進事業等の食育が充実しているとの意見がある一方、全小中学校の衛生的環境整備が必要であることやグリーン・ルネサンス推進事業の内容を一部変更する必要があるとの意見がありました。

芸術・文化・生涯学習については、郷土史料館や安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄等が活用され交流が生まれているという意見がある一方、郷土史料館を通年開館にすることや屋外スポーツが冬期間・雨天時に活動できる室内運動施設がないという意見がありました。

男女共同参画については、子育て世代の育休の取得や保育環境が充実できれば各指標の割合は向上するとの意見がありました。

平和施策については、平和祈念行事に継続して取り組むことや戦争に関する映画鑑賞事業や写真展等の新たな取り組みを望む意見がありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等	評価区分						合計
	A	B	C	D	E	F	
総合評価	6	12	28	12	1	1	60
子育て支援	1	0	5	5	1	0	12
学校教育	2	3	4	3	0	0	12
芸術・文化・生涯学習	2	4	5	1	0	0	12
男女共同参画	0	1	9	2	0	0	12
平和施策	1	4	5	1	0	1	12

<各委員の評価の状況>

◎子育て支援

評価	理由
A	第5期総合計画策定時に提言した子育て支援センターが着実に運営されている。
C	子育てしにくい町と感じる本当の理由が分からないが、逆に親側の問題として、一人親への行政サービスや、親の生活支援、雇用支援等の具体策が手薄だと感じて「子育てしにくい町」と回答しているのかも知れない。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	待機児童がほぼいないのは良いが一時保育などがもっと充実すると良い。
C	子育て経験がないので評価しづらい。
C	コメントなし(1件)
D	子育てしやすいと思っている市民の割合が低すぎる。
D	ひとり親世帯への各種支援制度の周知の不足を感じる。

D	医療費助成や幼稚園の整備など進んでと思うが、子育てしやすいまちと思う市民が23%(H30)とは、助成だけではなく子供達の活動できる施設が少ないため共働き世代に不満があると思う。
D	出産施設(病院)がなく育児に不安定住できない。子育てしたい都市が今後選ばれる。
D	子育てしやすい環境とは思えない。
E	出生数は減少しているにもかかわらず、希望の保育環境に入れない、就労できないなどの親子が多いように感じる。子育てしやすいまちだと思う割合の低さが物語っていると思う。

◎学校教育

評価	理由
A	食育の充実、校舎の大規模改修等、環境整備が進んでいる。
A	グリーンルネサンス事業等、必要な教育がされている。
B	頑張っている施策と感じた。ただし、一部の成果指標がまだ目標を達成していないこと、群を抜いた実績値の施策がないことなどからB評価。
B	施策数値目標が全体的に増加のため
B	ICT環境の整備や今後必須となるパソコンに関する教育ができるのは良い。
C	家庭学習習慣を身につけてもらうことが学力に繋がっている。
C	グリーンルネサンス事業、一部変更すべき。水稻は直接田に種子をまく時代又は無人の農業機械類。魅力的な農業の姿を学ぶ場に。
C	子育て経験がないので評価しづらい。
C	現状維持が多い
D	学力水準、学習時間ともに低い。
D	全小中学校の衛生的環境が確保されていないため、学力も体力も向上しにくい。全教室にクーラーを設置し、授業に集中できる、元気に活動できる衛生的環境整備が必要である。
D	将来を担う子どもに対して充実した環境を整えられていないと思うため。

◎芸術・文化・生涯学習

評価	理由
A	名前負けしない(唄のまち)施策があると更にパーフェクト。
A	世界的にも有名な美術館が運営されており、人の交流が生まれている。
B	ボルタリングを盛り上げるといいと思う。
B	郷土資料館やアルテピアッツァ美唄等が活用されている。
B	生涯学習やスポーツの取り組みは向上されているように思う。
B	コメントなし(1件)
C	広報誌やHPを通じて大いに発信できていると思う。
C	スポーツ健康都市宣言をし、運動習慣は目標を達成できている。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	郷土史料館は通年開館へ。展示リニューアル。竪坑櫓正面ブロンズ作品炭坑遺産とは質を異にするもの。
C	アルテピアッツァ、宮島沼など、市民にもっと身近なものとしてのプランが必要ではないかと感じます。
D	生涯学習・スポーツに取り組んでいる割合について、特に屋外スポーツが冬期間や雨天時に活動できる室内運動施設がないため活動が制限されている。また、同様に屋外スポーツが合宿場所には選び難いためスポーツ交流は広がり難い。

◎男女共同参画

評価	理由
B	成果指標を見ても、未だ女性をマイノリティとして位置付けている様に感じる。個々のメンタリティによって価値観が左右される分野であり、繊細な施策と感じる。
C	課題は多いが、取り組みの難しい分野だと思う。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	個人の頑張りによるところが大きいと思う。
C	趣旨が浸透するまで周知を継続していく必要がある。
C	意識は浸透してきていると思う。審議会等への登用率は子供が毎日19時まで安心して活動できる場所があれば向上する。
C	コメントなし(1件)
C	女性の登用率の達成度は56.7%となり良い方向と思う。
C	平等と感じている人が少ない
C	市民の間で理念の共有をしていくことが必要。
D	男女が平等だと感じる割合が少ない。特に子育て世代がのびのびと就労できない環境や空気（育休の取得・保育環境の充実等）があると思う。
D	まだまだ男女格差があるのではと感じます。地域による意識の差もあるのでは。

◎平和施策

評価	理由
A	今後、益々平和感や愛国感が希薄化する時代に入っていくと思われる。討論会でも写真展でも、語り部の会的なものでも新たな取組があるとよりパーフェクトだと感じた。
B	コンサートの開催やポスター掲示など意欲的に取り組んでいると思う。
B	コメントなし(2件)
B	平和記念行事の実施など市民にも周知されている部分が多いと思う。
C	今後も継続し、若い世代へ継承していくべきであると思う。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	核兵器廃絶に向けた署名は今後も継続していくと良い。
C	市民会館や学童施設などで戦争に関する映画鑑賞事業を行い映像で悲惨さを伝える取り組みも必要と思う。
C	まちで暮らしていて、目にすることがあまりない。
D	核廃絶に関するイベントをしてはどうかと思います。
F	コメントなし(1件)

3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
(4) 環境づくり (自然保護、環境行動、ごみ処理)

■総合評価 B ★★★★★

総括的コメント

自然保護については、宮島沼の保全活動やその活動に対する市民意識は評価されていますが、その他にも自然保護について何か目標値等を設定した方が良いとの意見がありました。

環境行動については、市民の環境に対する意識は高かまっているという意見がある一方、いまだにごみのポイ捨てや不法投棄があるとの意見がありました。

ごみ処理については、市民にごみの分別化が定着されており、ごみの減量化が図られているとの意見があるほか、生ごみ袋に工夫を加えるなどの改善を望む意見もありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等 \ 評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価	4	14	12	7	2	0	39
自然保護	0	5	6	1	1	0	13
環境行動	1	5	3	3	1	0	13
ごみ処理	3	4	3	3	0	0	13

<各委員の評価の状況>

◎自然保護

評価	理由
B	宮島沼に特化した保全に対する市民の意識は高まっているようですが、美唄市全域を考えた自然保護への意識の高まりは不十分なように感じられます。
B	学習会への年間参加者数が減少している。
B	宮島沼の取り組みは評価できる。
B	大切な観光資源を守る活動が、出来ていると感じました。
B	美唄の自然保護は、宮島沼が中心となっており、それは何か問題になっているとは思いません。ただ、他にも自然保護について何か設定しては如何でしょうか。
C	宮島沼があること以外で自然保護を行っているようには思えないため。積極的に保護を実施しているモノが他にあるのかわからない。
C	目に見える保護行動は感じない
C	宮島沼への交通の便は改善の余地がある
C	以前からと比較しあまり変わった実感がしないため。以前の方が街路に鉢植えがあつたりしたきがある。
C	現状で問題ないと感じる
C	従前の事業の継承と判断しました。
D	コメントなし(1件)
E	コメントなし(1件)

◎環境行動

評価	理由
A	目標値は下回っているが、数値が上がって来ているので。
B	総論として環境行動への意識は高まっておりますが、日本人の文化意識の特徴から、今後どれだけ外部環境へのアクションが高まるのか未知数である。
B	衣服のリサイクルなど、ゴミの減量を推進している
B	庁舎内では節電期間を設け、環境に配慮が出来ていると感じました。
B	特に問題があるとは思いませんが、これからは、プラスチックの海洋汚染などの問題もあり、SDGsの視点も視野に入れて、美唄市が足元からできることを考えていくべきではないでしょうか。
B	コメントなし(1件)
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	町内会や会社、学校などで環境活動に取り組んでいる団体。個人を毎月メロデーで取り上げていき表彰してはどうか(部活動紹介のように)
C	従前の事業の継承と判断しました。
D	「地球にやさしい生活」を地方都市で推進する必要性がわからない。現在の生活水準を維持しつつ目指すのは不可能だと思いますが、行政として十分に市民に周知及び理解は得られているのでしょうか。アンケートを見るに地球にやさしいというより家計にやさしい行動を目標にしていると感じる。
D	自治会におけるゴミ拾い等はとてもいいと思うが、ごみステーションに関係ない地域のゴミや、学生などのゴミのポイ捨てが増えた
D	いまだにポイ捨てや不法投棄が見られ、市民意識への働きかけが必要。
E	コメントなし(1件)

◎ごみ処理

評価	理由
A	ゴミが無くきれいな町だと思います。
A	美唄市の焼却施設がなくなっても違和感のないゴミ分別となっていること
A	分別もしっかりしており、良くできていると思います。今後はバイオマスについても何かできないか、検討しては如何でしょうか。
B	ゴミの分別は定着してきている状況ですが、ゴミステーションの管理状況、不法投棄の現状から、市民の意識の向上と具体的な対策がまだ求められています。
B	衣服のリサイクルなど、ゴミの減量を推進している
B	生ごみ資源化や広域処理など努力は感じる。
B	ごみの発生を抑制するには一人一人の意識が大事だと思います。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	生ごみの袋をもう一段階工夫してほしい。台所の三角コーナーに配置でき、そのまま出せる素材(有害でないもの・とけるもの?)ならごみ出しの手間が省けるので分別率も上がると思う。
C	従前の事業の継承と判断しました。
D	ゴミ減に向けて、例えばもっと抜本的に、プラスチック製品を使わずに販売していくなど取り組み方を変えていくべきでは?大型の堆肥化施設などを作り生ゴミを市役所で回収し、市内の農家に配布するなど、地産地消はむずかしいものなのではないでしょうか。
D	コメントなし(2件)

(5) うるおいづくり (都市基盤整備、景観・緑づくり)

■総合評価 C ★★★

総括的コメント
 都市基盤整備については、道路や歩道に凸凹が多く維持補修が行き届いていないという意見があるほか、市営住宅を早く統廃合した方が良いという意見もありました。
 景観・緑づくりについては、ボールで遊べる公園が少ないことや遊具が少ないことなどが公園の利用率が上がらない要因との意見があるほか、街路に植樹や花を植栽すると景観が向上するとの意見もありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等 \ 評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価	1	4	17	1	2	1	26
都市基盤整備	1	2	7	1	1	1	13
景観・緑づくり	0	2	10	0	1	0	13

<各委員の評価の状況>

◎都市基盤整備

評価	理由
A	他の町に比べても道路除雪は素晴らしい。
B	舗装率を上げ、凹凸を減らし、安全性を高めていく。
B	古い市営住宅について、早く統廃合したうえで改築を急ぐべきだと思います。
C	人口減少が加速するなか、都市機能の再構築が求められています。機能的なまちづくりの構築に向け、根本的な都市基盤整備を考える必要がある。
C	全体的に高齢者を対象とした街作りになっているので、若者への配慮が欠けている。除雪については、交差点に山積みしていく手法を見直し、交通安全に配慮した実施を希望します。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	道路により除雪差がないように均衡を図る必要がある
C	お金がかかるが、市民の目も厳しいところ。メリハリと長期的な計画性を見せてほしい。
C	従前の事業の継承と判断しました。
C	コメントなし(1件)
D	道路や歩道の整備が追いついていないように感じる。特に歩道はでこぼこがありすぎてお年寄りには本当に歩きづらいと思います。
E	道の状態が悪すぎる
F	コメントなし(1件)

◎景観・緑づくり

評価	理 由
B	アルテピアッツァや東明の桜は観光資源でもあり、しっかり整備を続けてほしい。
B	公園すべてを整備するのは厳しいと思います。統合するのもありだと思いました。
C	空き店舗の活用、緑あふれるまちづくりへの提案等、具体的なモデルケースの展開と、目に見える形で進めることはできないだろうか。
C	ボール遊びの出来る公園が少ないので、利用率が上がらないモノと思います。公園の数も多すぎるように感じます。
C	公園の利用率が下がるのは、遊具など必要なものがないのではと思う。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	植樹した桜は現在の数では不十分であり、街中の景観をもっと向上できると思う
C	街路樹の手入れ等行き届いていると思います。
C	美唄には銀杏並木のきれいな通りがたくさんあるので、もう少し整備しアピールしては？
C	市内の道路などに、もっと花がいっぱいあると環境も美しくなり、心も豊かになると思います。
C	従前の事業の継承と判断しました。
C	コメントなし(1件)
E	コメントなし(1件)

4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
(6) 健康づくり (保健、地域医療)

■総合評価 C ★★★

総括的コメント

保健については、受動喫煙対策を全国に先駆けて取り組み喫煙率が低下したため、今後も継続すべきとの意見があるほか、市民向けの健康づくりが活発に行われ、健康意識が高まっているとの意見もありました。

地域医療については、市立美唄病院の建て替えの是非についての意見が多くあったほか、医師確保などの医療体制の充実を望む意見もありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等 \ 評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価	2	6	12	2	2	0	24
保健	1	5	6	0	0	0	12
地域医療	1	1	6	2	2	0	12

<各委員の評価の状況>

◎保健

評価	理由
A	受動喫煙対策に全国に先駆けて取り組んでおり、今後も必要
B	成果指標では、一点を除きパーフェクトだと感じる。コンビニ証明書の発行は、イニシャルコスト、ランニングコストのねん出が不可欠であり予算措置が最優先。庁内コンセンサスは二次的課題と感じる。
B	「自分が健康だと思う」という人の割合が多く、実感として表れているように思う。
B	ウォーキングや各種体操を行うなど健康意識は高まっている。
B	市民向けの健康づくりがとても活発に行われていると思う。
B	コメントなし(1件)
C	自己の健康への関心が高まればと思う。
C	喫煙率の低下は、受動喫煙防止条例施行に伴い、喫煙防止教育に取り組んでいる成果であると思う。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	本市の人口構造及び医療費抑制の観点から重要度が高く、今後も効果的な施策が求められる。
C	コメントなし(1件)
C	高齢化率が高まるなか、高齢者福祉の充実を図ることが急務かと思われまます。

◎地域医療

評価	理 由
A	救急医療体制等、必要な取り組みがされている。
B	コメントなし(1件)
C	可も不可もなし。ただ、市立美唄病院の建て替えが必要なのは間違いないと感じる。
C	一刻も早く市立病院の建て替えを進めるべき。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	高齢化が進む美唄にとって今後どうなっていくかが重要。
C	病院の建替えの是非については広く関係機関や市民から意見を聞き、十分に検討する必要がある。
C	市立病院の位置を再検討する必要があるのではないかと思います。
D	病院の建て替えも必要だが医師確保が最重要課題である。
D	市立病院は地域医療の確立に向け緊急を要する。議論は永すぎる。
E	市民が適切な医療にかかるため、専門医や専門スタッフを充実させ、受診しやすい環境を整えた方が良い。
E	医師不足、看護師の対応、医師の専門外の対応についての苦情が多い。

(7) 福祉のまちづくり (障がい者福祉、高齢者福祉)

■総合評価 C ★★★

総括的コメント

障がい者福祉については、障がい者に対するサービスは十分充実しているという意見がある一方、バリアフリーが必要な施設があることや災害時に障がい者が安心安全に避難する避難所が無いという意見もありました。

高齢者福祉については、高齢者の生きがいづくりや介護予防、認知症施策に取り組んでおり、高齢者に優しい町との意見があるほか、今後の最重要課題の一つとなると思われることから先を見据えた事業展開などを望む意見もありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等 \ 評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価	3	7	12	2	0	0	24
障がい者福祉	1	3	7	1	0	0	12
高齢者福祉	2	4	5	1	0	0	12

<各委員の評価の状況>

◎障がい者福祉

評価	理由
A	まちづくり成果指標の達成度も高くよくできている。
B	サービスは十分充実していると思う。
B	障がい者へのサービスが手厚い。ただ、待機障がい者が出てしまっているため解消する必要がある。
B	他の自治体より障がい者には、優しい町だと思う。
C	既存施設のハード面において、まだバリアフリーが必要な施設があると感じた。
C	地域で生活できている者の割合を維持できていることは、障がい者自身の安心には繋がっていると思われる。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	必要に応じた対応ができている。
C	災害時、障がい者の安心安全な避難所が無い。
C	障がい者の就労支援の充実
C	コメントなし(1件)
D	概ね事業は進んでいるものの地域で安心して暮らせる環境には及んでいないと思われる。

◎高齢者福祉

評価	理 由
A	高齢者の生きがいとなり得る様々な事業を実施している。
A	・介護予防、認知症施策に先進的に取り組んでいる。 ・指標の達成度も高い。
B	やるべき事はやっているものと感じるが、今後益々課題と需要が増える分野でもありB評価。
B	シルバー人材センターが良い。あと、び～さても活用できるといいと思う。
B	他の自治体より高齢者には、優しい町だと思う。
B	コメントなし(1件)
C	今後の最重要課題の一つとなると思われるので、先を見据えた行政に期待。
C	施策実績値の大幅変動がないため
C	高齢者の引きこもり対策。タバコの害より被害があると言われている。
C	高齢化率が高く介護保険制度の狭間の市民は安心して生活できているのかと思う。
C	地域の相互扶助を市民主体で進めることも必要かと思われます。
D	自立高齢者数が減少。介護予防・重症化予防の視点を持ち、保健と連携して予防していくことが必要。

5 安全で安心して住めるまちづくり
(8) 安全づくり (防災・防犯・交通安全、消防)

■総合評価 C ★★★

総括的コメント
 防災については、全市での防災訓練も必要だが地域単位での訓練も必要ではないかという意見がありました。防犯については、街路灯のLED化が進んでいるが、街路灯の無いエリアや少ないエリアにも増やしてほしいとの意見がありました。交通安全については、地域における交通安全活動をもっと活発に行う必要があるとの意見がありました。
 消防については、高齢者夫婦・独居高齢者の増加により、救急時への対応が難しい環境にあるとの意見があるほか、イベントなどで消防体験ができ、防災意識が向上している。救急タクシーの導入を検討してほしいという意見がありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等 \ 評価区分	A	B	C	D	E	F	合計
総合評価	1	8	14	2	0	0	25
防災・防犯・交通安全	0	3	7	2	0	0	12
消防	1	5	7	0	0	0	13

<各委員の評価の状況>

◎防災・防犯・交通安全

評価	理由
B	信号機や街路灯のLED化が進んでいること。街路のないエリアや少ないエリアに増えるとさらにいいのですが。
B	すきやき隊などの見守りはありがたいと感じる
B	防災、防犯が起こらないほうが、絶対に良いと思いますが、起こってしまった後の対応を考えるべき。
C	災害に強いまちづくりが求められています。ブラックアウト以降、身近な問題として感じられるようになりました。全市的な訓練も必要ですが、地域単位の訓練も進めていかなければなりません。
C	特に安全に関して上がったとは感じない
C	地域における交通安全活動をもっと活発に行う必要があると思う
C	大きな災害のニュースは聞かないが、交通安全はさらに減少を。
C	高齢者が多くなっていくので、地域での見守りなど、コミュニティの強さが益々求められる時代になっていくと思います。
C	従前の事業の継承と判断しました。
C	コメントなし(1件)
D	子供や高齢者を対象とした交通安全教室の実施とあるが、その成果はあまり現れていないように感じます。特に自転車の通行について、徹底していただきたい。
D	自主防災組織が動いていない。交通安全についての活動が見えない。

◎消防

評価	理 由
A	市民の安全安心のためになっている。
B	高齢者夫婦・独居高齢者世帯の増加により、救急時への対応が難しい地域環境にあります。住居・設備等もありますが、地域への粘り強い働きかけも必要です。
B	以前のようにイベントなどに消防体験ができたりするようになり、防災意識向上に役立っていると思います。
B	市民の皆様の防災意識を高めていくために防災訓練を定期的実施したほうが良いと思います。
B	今は良いと思いますが、高齢者が多くなっていくので、現在の救急者の台数で市民の生命が守れるのか、心配があります。
B	コメントなし(1件)
C	火災や救急の現場に居合わせていないので、評価のしようがありません。
C	平年値を維持している
C	救急タクシーの導入の検討が必要
C	一定の体制は整備されている。
C	現状で問題ないと感じる
C	従前の事業の継承と判断しました。
C	コメントなし(1件)

(9) 安心づくり (消費者保護、雇用対策、コミュニティ)

■総合評価 C ★★★

総括的コメント
 消費者保護については、高齢化の進行に合わせて一層の啓発活動を行うとともに相談窓口をもっと周知すべきとの意見がありました。
 雇用対策については、若者が札幌市などの市外に就職しないように特色ある雇用対策を望む意見のほか、若者の正規雇用ができる企業の誘致や高齢者の就業支援を望む意見がありました。
 コミュニティについては、町内会組織はあるものの、機能していないところもあると思うので、市の取り組みである地域応援チームを活用して町内会活動ができるようにしてほしいとの意見がありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分	評価区分						合計
	A	B	C	D	E	F	
総合評価	0	11	24	3	1	0	39
消費者保護	0	6	7	0	0	0	13
雇用対策	0	3	7	2	1	0	13
コミュニティ	0	2	10	1	0	0	13

<各委員の評価の状況>

◎消費者保護

評価	理由
B	市・消費者協会と関係機関との連携方法について改めて調整を図る必要があります。福祉の相談窓口においても消費者被害に関する相談を多く受けるようになりました。
B	相談件数が増加している。
B	消費者センターの活用等少しずつ増えているように感じます。
B	悪質商法対策として訓練を行い、説明会を開いたほうがいい。
B	全国的にも様々な問題があるので、心配ごとがあれば、しっかり相談できる、地域の安心体制を強化すべきだと思います。
B	コメントなし(1件)
C	「被害を未然に防ぐ」ために相談窓口を利用した件数があるとよい。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	相談窓口があることをもっと周知する必要がある
C	高齢化の進行に合わせて一層の啓発活動を。
C	困ったときの相談体制の強化が必要と感じる。また詐欺防止のための録音機能付き固定電話のリース事業があれば良い
C	従前の事業の継承と判断しました。
C	コメントなし(1件)

◎雇用対策

評価	理由
B	就職率が上がっている。
B	雇用対策を解決して人口を増やす。雇用対策を解決する方法を考える。
B	コメントなし(1件)
C	札幌など都市部への就職を求める若者が多いなか、市と企業には特徴ある雇用対策が求められている。企業であれば給与ばかりではなく、福利厚生等で差別化できないでしょうか。
C	基本的な疑問として、子育て世帯が共働きを望んでいるのかわからない。また、例示されている技能講習で取得する資格に汎用性があるとは思えないので、事務分野の資格や技能向上に力を入れた方が就業率が高まりそうに思います。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	若者の正規雇用ができる企業の誘致ができれば良い
C	高齢者の就業支援が今後の課題となりそう。
C	若い人が市外に出ていかないよう、美唄市内に魅力ある雇用の場を確保してほしいです。
C	従前の事業の継承と判断しました。
D	企業紹介のパンフレット等作成されているようでしたが、存在を知らなかった。市街の人と接していても雇用に対しての声は聞かない。
D	雇用の場も少ないと感じるが、人材登録などで子育て中のお母さんなども登録して働けるときに働ける環境作りが必須と思われる
E	コメントなし(1件)

◎コミュニティ

評価	理由
B	地域の福祉活動をサポートしている。
B	地域応援チーム制度を活用し、町内会活動ができる町内会が増えてほしい。
C	地域に特化してアプローチする仕組みと専門組織が必要なのではないか。特に町内会連合会の設置、特定の組織へのコミュニティ構築への補助金投入など、システムの構築が必要なのではないか。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	地域活動に参加する際にボランティアではなく、インセンティブがつく等の仕組みが必要
C	ふれあい広場など、以前より活用されるようになってきていると思いますが、あまり変化を実感できていないのでC。
C	町内会の力も落ちているので、市がうまくサポートする必要がある。
C	地域応援チームの市民の認知度がまだ低いと思います。
C	町内会組織はあるものの、機能しているところ、そうでないところがあるように思われます。これからの時代は、その必要性が益々増えていくと思います。
C	従前の事業の継承と判断しました。
C	コメントなし(2件)
D	都市基盤整備事業と施策が逆行しているため、行政側の方向性がわからない。住み慣れた地域での活躍ではなく、活躍しやすい地域を街中に用意することが重要と考えます。

6 みんなで力を合わせるまちづくり
(10) 地域経営の確立（協働のまちづくり）

■総合評価 C ★★★

総括的コメント

市民主体のまちづくりや協働とは何かを市民に十分共有されていないとの意見があるほか、積極的で意欲的な協働のまちづくりを担う「人材」の育成を図る必要がある。また、まちづくりに市民が積極的に参加しているようには思えず一定の人に依頼している。行政への依存度が高いとの意見もありました。

<各委員の評価の集計結果>

施策区分等	評価区分						合計
	A	B	C	D	E	F	
総合評価	0	10	16	7	2	1	36
協働のまちづくり	0	10	16	7	2	1	36

<各委員の評価の状況>

◎協働のまちづくり

評価	理由
B	サテライト・キャンパスの講座を継続し、人材育成に努めているため。
B	今まで行ってきたことを継続していくことは大切だと思うが、今の時代に適したことを行っていくことが今後重要になってくるのではないかと思ったためです。
B	コメントなし(3件)
B	参画度およびサテライトキャンパスの目標値の50%に達していないため
B	サテライトキャンパスの拡充が確固たるものとなれば、地域活性化にも貢献すると感じた。例えば参加者の受講料無料が実現できれば、財源には苦慮するが、受講者数増となり、広報の手法によっては活性化の大きな起爆剤となるのではないかと感じた。
B	サテライトキャンパス等の実施により、協働の意識付け及び人材育成が図られている。
B	少しずつ流れが変わってきていると思います。
B	まちづくりに対して市民全体で意識していく。
C	施策の一つである「まちづくり」についての取組みが見えてこない。各企業との連携を図り率先した取組みを展開することが必要。また、取組に対してのPR方法の改善により、より多くの参画者を募ることが出来ると思う。サテライトキャンパスは内容も充実しており「まちづくり」への参画の一環として継続した実施が必須。
C	本市に滞在しながら日本の文化体験や交流を望む外国人観光客に対し、市民との交流する時間を通して、この街に来て良かったと思えるような、また訪れたいと思えるような、受入体制を作り、市民全体でおもてなしのまちづくりを進めてほしい。
C	コメントなし(2件)
C	行政側のアクションはよいと思うが、市民側の反応は薄いと感じる。
C	協働の視点は必要だと思うが、個の意識が強くなってきていると思う。生活習慣やライフスタイルの変化に応じて柔軟に考えていくことも必要と思われる。
C	施策実績値の大幅変動がないため

C	みんなで力を合わせるまちづくりのためには、施策の方向性に記載のとおり積極的で意欲的な協働のまちづくりを担う「人財」の育成を図る必要がある。
C	市民主体のまちづくりが十分市民に共有されていないように思われます。
C	協働とは何かを市民の間で共有できる取り組みが必要。
C	すばらしい美唄市まちづくり基本条例がありながらその定着と、協働のまちづくりにふさわしい取組み例の紹介が不十分であると感じています。
C	いろいろな制度があるが、制度が生きていない。
C	これまでより進んでいるとは感じない
C	情報発信は紙媒体とデジタル媒体の併用、いずれは移行が必要
C	世代間交流が必要と感じています
C	従前の事業の継承と判断しました。
D	まちづくり参画度の指標を再検討する必要がある。イベント協力者ではなく、イベント参加者を増加させるべき。
D	コメントなし(1件)
D	地域住民でのまちづくりはあまりできていないように感じる。もっと地域経営に対してハードルを下げると良いかなと思う。
D	まちづくりに市民の参加が積極的に参加しているようには思えず一定の人に依頼しているのではないかなと思う。
D	結局、この市はどうなりたいのかが周知徹底されていないので、迷走しているように思います。
D	市民意識はまだ行政への依存度が高い。今後も努力をとの応援の意味であえて低めの評価。
D	市民検討会議もそうですが、女性が少ないと思います。その理由を検証した上で、女性が参加しやすいよう、工夫してもらえると良いと思います。
E	小さなまちだからこそ、市民の意見をもっと細かく聴取できると思う。
E	市民が住むまちに対しての興味や関心を持っていなさすぎる（全体的に）市に好意的な市民や団体を味方に行政とともに、市民サービスにより一層取り組んではどうか？
F	コメントなし(1件)

主な自由記述

まちづくり評価表の「自由記述」欄にお寄せいただいた主なご意見などを紹介します。今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

No.	ご意見等
1	具体的な内容が示されていないので、評価しづらい。 例えば、(1)農商工連携：15品目→7品目。残った7品目は何か。それらのメリットやデメリットは何か。消えた8品目は何がダメであったのか。
2	否定的ではなくあくまで現状を見据えしっかり把握し、今後、持続可能なびばいであるためにより良い議論を重ね、まちづくりに取り組んでいければと思いますし、そう願っています。
3	国道12号線沿いは人が集まる場所や車を止めるスペースがないため、もっと人が集まったり立ち寄れるような場所にしたほうが良い。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な都市、地域づくりは今までの経済効率優先のまちづくりではなく「車」社会から「人」社会中心のコンパクトな街への変革が必要。 ・美唄市は札幌・旭川の間点にあり通勤圏の範囲。利点を生かし情報の発信を。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・第5期総合計画策定時の委員の時に子育て支援センターの設置を提言し、形になり、市に根付いたことをうれしく思っています。 ・提言した内容の一つでも現実的なかたちになればと思います。
6	今後、美唄市人口ビジョンからも明らかな人口減少から生じる様々な問題に対していかに向き合うかが喫緊の課題です。このテーマは声高に叫ばれてはいますが、まだ具体性のあるビジョンは示されていないように感じています。他市町との比較から様々な意見をお持ちの方から「〇〇のまちには〇〇があるが、美唄市にはない」など、挙げればきりのないほど耳にします。そろそろうんざりな気もしています。これも誰もが発していますが、いま必要なのは美唄市の現状を把握し、将来を見据えた計画をしっかり作成するということ。このあたりまえなこと(基本的なこと)が実現されていないからなのでしょう。改めて、このことをしっかりと議論し、目に見える形で具体化することが求められています。私の活動もその一助になればと期待しています。具体性のない感想程度のコメントで申し訳ありません。
7	市の財政状況が芳しくないことから、複数の事業を浅く実施するよりも未来への投資という観点から1つの事業に絞って取り組む方が結果的によい方向へと進むと思っています。他市町村での成功例をなぞるのではなく、ゼロからイチを生む努力をすべきと考えます。
8	今回会議に参加しているの市民代表の意見が、どのようなプロセスで計画に反映されるのかを明確に知らせる必要があると思う。何度もまじめに取り組んでいる市民の方々を見ると、市民からも意見を聞いたという体裁の使用方法では失礼な気がする。

第7期美唄市総合計画等市民検討会議・部会編成

全体会議

正副部会長会議

委員長：小山 茂
副委員長：越前谷 賢一

にぎわい・地域づくり 部会

農商工連携、農業振興、商工業振興、観光・交流、公共交通

支えあい・人づくり 部会

子育て支援、学校教育、芸術・文化・生涯学習、男女共同参画、平和施策、保健、地域医療、障がい者福祉、高齢者福祉

うるおい・まち並み 部会

自然保護、環境行動、ごみ処理、都市基盤整備、景観・緑づくり、防災・防犯・交通安全、消防、消費者保護、雇用対策、コミュニティ

★共通事項 情報化推進、協働のまちづくり、行財政運営

天池 直木
江田 仁
及川 晋 (市)
扇谷 朗 (市)
太田 浩司
北野 保孝
◎ 小山 茂
近藤 孝志 (市)
今野 佑太
佐藤 政直 (市)
新 宗晃 (市)
堀部 伶 (市)
前川 皓汰 (市)
松山 智子
○ 宮田 光
渡部 貴司

16人

青木 啓祐 (市)
赤沼 智美 (市)
○ 安達 武雄
大沼 拓一郎 (市)
大道 良裕
鎌倉 大源 (市)
倉橋 未沙姫 (市)
小林 康二 (市)
佐々木 洋介 (市)
佐藤 達樹 (市)
芹澤 一宏
花田 太郎
日詰 拓也 (市)
真下 克幸
◎ 三澤 祥子
水上 洋輔 (市)

16人

伊藤 恵太 (市)
糸畑 直希 (市)
◎ 越前谷 賢一
加藤 愛梨 (市)
狩野 敦子 (市)
佐藤 道子
佐藤 勇次 (市)
奈良 誠之 (市)
橋本 知夫
久恒 大史 (市)
松本 和弘
三宅 智英美
山田 和史
○ 山田 健四
和田 竜 (市)

15人

◎:部会長 ○:副部会長 (市):市職員委員